

2017年10月10日

各位

ヒューマンライフコード株式会社
代表取締役社長 原田 雅充
お問い合わせ先：日本トリム東京オフィス内
TEL：03-5511-8660

ヒューマンライフコード株式会社と関西医科大学 低侵襲再生修復治療に向けた共同研究契約締結

学校法人関西医科大学（所在地：大阪府枚方市、学長 友田 幸一、以下「関西医大」）とヒューマンライフコード株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：原田 雅充、以下「ヒューマンライフコード」）は、このたび低侵襲再生修復治療に向けたヒト脂肪組織由来幹細胞分離用医療機器の開発研究に関する共同研究契約を2017年10月10日に締結しましたのでお知らせします。

関西医大形成外科学講座では楠本健司教授、覚道奈津子講師らの研究チームが患者自身の脂肪幹細胞を用いた新たな乳房再建術の研究に取り組んでおり、現在臨床研究を実施しています（*）。

この乳房再建術では、まず本年8月1日付けにてヒューマンライフコードが導入した専用の機器を用いて患者自身の太ももや、お腹などの脂肪を吸引し、脂肪や血管を作る細胞群を抽出、それを濃縮し、吸引した脂肪と混ぜ合わせたものを患部に注入することで、皮膚を大きく切開することなく乳房を再建することができる方法です。この新しい再建術は、従来の脂肪のみを注入する方法と比較して脂肪定着の可能性が高く、従来の方法では難しいとされる部分的にくぼんだ乳房の再建にも適用できることから、治療ニーズも高く、主に乳癌温存手術後の患者のQOL向上に大きく貢献することが期待されています。

本契約締結により、ヒューマンライフコードは、関西医大との脂肪幹細胞の分子生物学的解析、動物を用いた投与方法の更なる検討、細胞移植効果の効果的な解析方法等の共同研究を通じ、関西医大が実施中の新たな低侵襲乳房再建術の確立に向けた取り組みを支援してまいります。

<補足情報>

* 関西医大からの乳房再建の臨床研究開始に関するプレスリリース（平成29年2月17日）

http://www.kmu.ac.jp/media/2671t8000001l6t3-att/20170217Press_Release.pdf

ヒューマンライフコードについて

ヒューマンライフコード (<http://www.humanlifecord.com/>) は、ヒト組織由来の幹細胞を有効活用し、治療ニーズを満たしていない炎症性疾患・組織傷害を持つ患者に対して、幹細胞治療という新たな治療選択肢をお届けすることを使命として、2017年4月に設立した会社です。国内外のアカデミア・事業会社との戦略的提携を通じ、高品質かつ安全な国産の再生医療等製品を安定供給できる体制を構築し、再生修復医療の産業化に貢献します。

以上